

第1回院生主体小規模研究会

開催日：2009年5月28日（木）
 時間：研究会 15：00～17：00
 交流会 17：30～
 場所：同志社大学 新町キャンパス
 臨光館 305 教室

参加費無料
 当日参加OK

発題者：三島亜紀子
 東大阪大学准教授

テーマ：社会福祉学の＜科学＞性

フロイト理論からEBMまで——専門職として

の認知とそれを保証する学問としての＜科学＞性

を求め、社会福祉はどのような歴史を辿り、

そして今どこへ向かおうとしているのか。

著者略歴

1971年生まれ

2005年 大阪市立大学大学院生活科学研究科博士課程単位取得退学

現在 東大阪大学准教授

著書 『社会福祉学の＜科学＞性』（2007年、勁草書房）、『児童虐待と動物虐待』（2005年、青弓社）。共著に『医療社会学のフロンティア——現代医療と社会』（2001年、世界思想社）、『社会福祉士のための基礎知識Ⅱ』（2003年、中央法規出版）、『セクシュアリティと障害学』（2005年、明石書店）など。共訳に『障害の政治——イギリス障害学の原点』（2006年、明石書店）。

交通案内

地下鉄「今出川」駅2番出口から徒歩5分



主催：同志社大学大学院社会福祉学専攻院生有志

共催：同志社大学社会福祉教育・研究支援センター (<http://gpsw.doshisha.ac.jp/index.html>)

連絡先：090-7097-2109 esh3103@mail2.doshisha.ac.jp (廣野俊輔)